

平成 26 年 6 月 2 日

報道関係各位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

『産官学連携』で公共施設データベース構築共同研究を実施

株式会社オリエンタルコンサルタンツは、焼津市、国立大学法人名古屋工業大学と共同で、公共施設データベース構築に関する研究に着手することとなり、本日、三者による共同研究の協定書が締結されました。

本研究は、焼津市が保有する公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため三者で連携して調査研究を進め、全国の自治体で初となる統合型公共施設データベースになると期待されています。

【統合型公共施設データベースの概要】

市が保有するあらゆる公共施設（インフラ、建物、市有地）の情報を一元管理し、データベース上の情報を活用することで公共施設等総合管理計画の推進に寄与するものです。

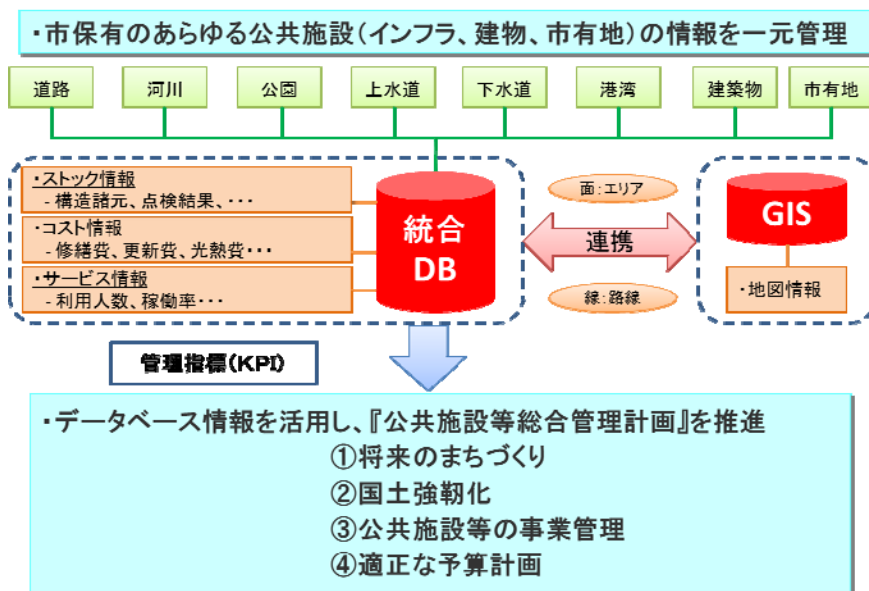
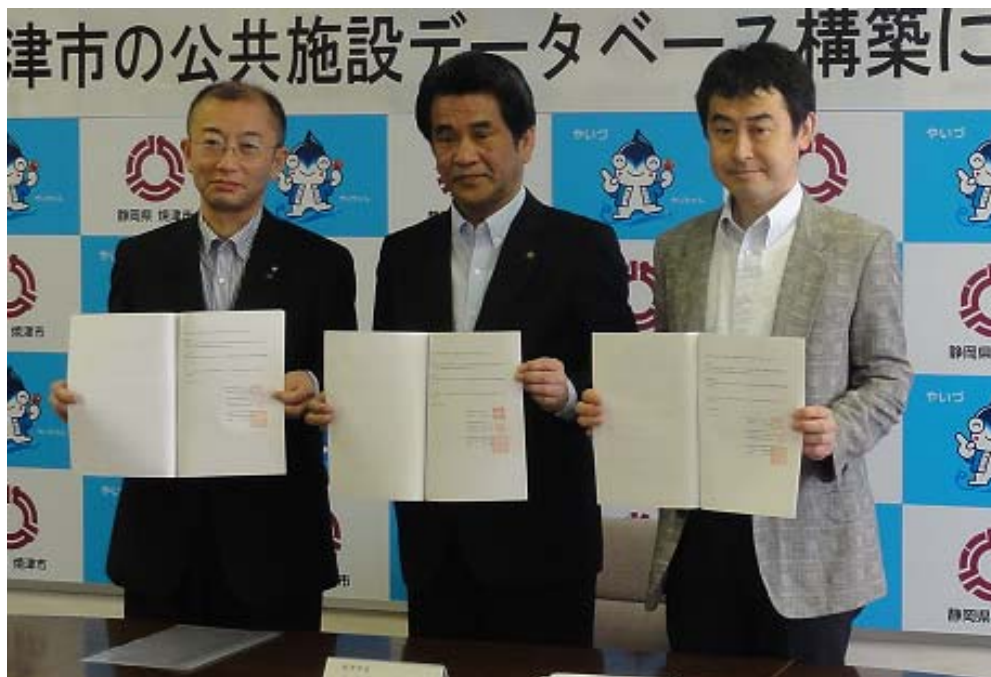


図 統合型公共施設データベースの概要

【ポイント】

- ①現状では、施設ごとに複数のデータベースがあり、所管部署が個別に事業計画や予算計画に対応していますが、開発後は、それらを統合化し、高度で総合的な活用が可能となります。
- ②統合型公共施設データベースは、様々な切り口で総合的な分析を行うことが可能になります。
- ③これにより、将来のまちづくり、公共施設等の管理、国土強靱化を戦略的に推進するツールとして活用されることが期待されます。

【三者による共同研究に関する記者発表】



(左) 野崎 社長、(中央) 中野 焼津市長、(右) 秀島 名古屋工業大学大学院教授

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <http://www.oriconsul.com/>

統括本部 三百田、伊藤